

■ <sup>ひらか</sup>平鹿リンゴの<sup>きそ</sup>基礎づくり

# 伊藤 謙吉

いとう けんきち

出身地 横手市（旧平鹿町）

1846年（弘化3年）～1908年（明治41年）

リンゴを導入し、害虫の大発生にもめげず、<sup>ひらか</sup>平鹿にリンゴを根付かせた。農業改良の指導者として<sup>かつやく</sup>活躍し、ナシ、カキ、モモなどの<sup>さいばい</sup>栽培を試みた。



## 年譜

- 1846年 <sup>ひらか</sup>横手市（旧平鹿町）に生まれる。旧姓・<sup>きゆうせい さとう</sup>佐藤。
- 1872年 <sup>ふまい</sup>腐米改良運動に参加し、成果をあげる。
- 1873年 秋田県第6大区6小区<sup>こちょう しゅうにん</sup>戸長に就任。
- 1875年 自力で東京や先進県からリンゴ・ナシ・カキ・モモの<sup>なえぎ</sup>苗木を<sup>しよくさい</sup>求め植栽。
- 1889年 自費で農事改良講話会を<sup>じたく</sup>自宅で開く。
- 1898年 リンゴワタムシ大発生、<sup>けんめい ぼうじょ</sup>懸命に防除。
- 1903年 農事実習場を設置、農家<sup>こうけいしゃ</sup>後継者の<sup>じんりよく</sup>育成に尽力。
- 1908年 <sup>ひらか ぼつ</sup>横手市（旧平鹿町）で没。62歳。